

1 学校名 葛飾区立上小松小学校

2 令和7年度の活動目標

様々な体験学習をはじめ、教育活動全体を通して、自分や他者を大切にする心を育む。
また、福祉ボランティアについての理解を深め、みんなのためにすすんで行動しようとする意欲と実践力を育てる。

3 活動の様子



10月28日 環境委員会 花の苗植えの様子

- ・地域の方と一緒に活動できてうれしかったです。
- ・植えた花がきれいに咲くように、これからも水やりや草取りをがんばりたいと思いました。
- ・学校がきれいになると気持ちも明るくなることが分かりました。



11月13日 6年生 アイマスク体験

- ・目が見えないと、歩くだけでもとても不安でした。声をかけてもらえると安心できることが分かりました。
- ・段差や曲がり角など、普段は気にしていないところがとてもこわく感じました。
- ・相手が安心できるような声のかけ方をこれから意識したいと思いました。



11月27日 6年生 車いす体験

- ・少しの段差でも車いすでは通るのが大変だと分かりました。
- ・押してもらったときのスピードや声かけがとても大事だと感じました。
- ・困っている人を見かけたら、勇気を出して手伝いたいと思いました。

4 活動の成果

車いす体験やアイマスク体験を通して、児童は福祉への理解を深め、困っている人へ思いやりをもって接しようとする意識が高まった。実際の体験により、「相手の立場に立つ」ことの大切さに気付き、体験後の振り返りでも多くの学びが見られた。

地域応援団との協働で花の苗植えを行い、児童が地域とのつながりを実感した。花の苗植え後は、環境委員会が主体となって草取りや水やりなどの継続的な活動を責任をもって行った。学校環境を自分たちが支えているという自覚が児童に芽生えた。

全校児童が協力して清掃活動に取り組み、公共物を大切に使うことに改めて気付いた。清掃の役割分担や時間配分を考えながら活動することで計画性や責任感も高まった。